

「夏のふれあい防災研修」実施

湖南広域消防局

湖南広域消防局は平成24年7月13日、夏の災害予防運動（実施期間：平成24年7月1日から同14日）の事業の一環として、「夏のふれあい防災研修」を開催。夏に向けた住宅防火対策、幼少年等に対する花火の取扱いの注意喚起や熱中症予防と応急処置などの研修に、管内（草津市・守山市・栗東市・野洲市）35学区から65名の民生委員、児童委員の皆さんが参加。日頃から、住民、特に高齢者等とのふれあいを大切に活動されている皆さんだけに、熱心にノートを取られるなど、非常に有意義な会となりました。



防災研修の様子

流水救助訓練の実施

大津市消防局

大津市消防局は、平成24年7月27日、大阪府豊中市消防本部、兵庫県尼崎市消防局との合同訓練として、市内河川において流水救助訓練を実施。アグレッシブスイム、ディフェンシブスイム等の基礎訓練から、当局が本年度新規導入したラフティングボートを活用した流水域での救助活動訓練を行い、流水域での活動の困難さを理解でき、大変有意義な訓練となりました。

当消防局は今後も、流水域で有効な救助活動が展開できるように技術向上に努め、いかなる災害にも対応できるように取り組んでいきます。



スローバックを活用した救助訓練

消防通信 望楼 ぼうろう

世界初の救助支援船「シースレッド」の導入

摂津市消防本部

摂津市消防本部は、平成24年度、水上バイクで牽引する救助支援船「シースレッド」を導入。市内で水上バイクの販売・修理を手掛ける(有)タキモトワークスから「社会貢献のため救助支援船を開発したい」との申し出を受け、当消防本部職員の意見をもとに試験を重ね、軽量で浮力が高く、300kgまで牽引可能で、さらにバックボード搭載により現場で効果的に応急処置が実施可能な、世界初の救助支援船が完成しました。

今後、当消防本部は、この新戦力を活かし要救助者の救命率向上に努めて参ります。



「シースレッド」による救助訓練の様子

女性初の救急救命士誕生

尼崎市消防局

平成24年7月1日、尼崎市消防局初となる女性救急救命士が誕生しました。「現場で困っている人を助けたい」と消防職を目指した、寺澤彩乃・救急救命士です。平成21年4月に当消防局に入局、消火活動等に従事しながら、救急救命士を目指し、今年4月、国家資格を取得し、医療機関での研修後、7月より救急活動に従事しています。

「市民に安全、安心を与える救急隊員として、第一線で活躍したい」と語る寺澤救急救命士とともに、当消防局は、今後も市民の安全のために取り組んで参ります。



寺澤救急救命士の仕事は救急車の点検から始まる

消防通信／望楼では、全国の消防本部、消防団からの投稿を随時受け付けています。

ご投稿は、「E-mail:bourou-fdma@ml.soumu.go.jp」まで【225文字以内の原稿とJPEG画像を別ファイルで送付してください】